

MIOWHS－W 複数台用 設定マニュアル

前提ソフトウェア

本ソフトウェアは Windows 専用です

Windows7、Windows8、Windows8.1 で動作が確認されています。

本ソフトウェアは .netFramework4.5 以上を前提ソフトウェアとしています。

ご使用いただく前にお使いの Windows に .netFramework4.5 がインストールされていること
のご確認をお願いいたします。

ご注意

本ソフトウェアは LS-101、LS-106、MS-101、MS-106 を使用する際のデモンストレーション
アプリであり、医療機関や介護施設などでご使用いただき事故が発生して弊社は一切の責任
を負いません。

本ソフトウェアを使用される前に使用するセンサーの設置と無人学習を完了させてください。

—目次—

1. 初期設定	1
(1) スタッフメンテナンス	1
(2) スケジュールメンテナンス	1
(3) 初期パスワードの変更	2
(4) センサーメンテナンス	2
(5) SMTP.inf の編集	4
2. 見守りの開始と停止	4
3. 発報時の対処	5
4. ログ確認方法	5

1. 初期設定

センサーを設置し初期設定が終了した後に、本アプリを使用して運用を開始される前にスタッフメンテナンス、スケジュールメンテナンス、センサーメンテナンスおよび SMTP.inf の設定を行う必要があります。

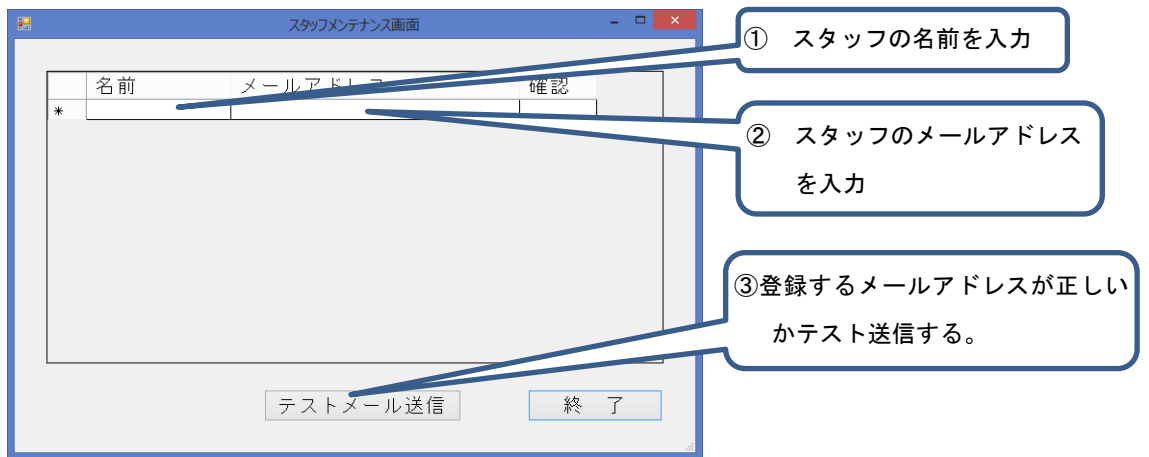
(1) スタッフメンテナンス

スタッフの名前と連絡先を設定する画面

追加は最終行の空行に入力

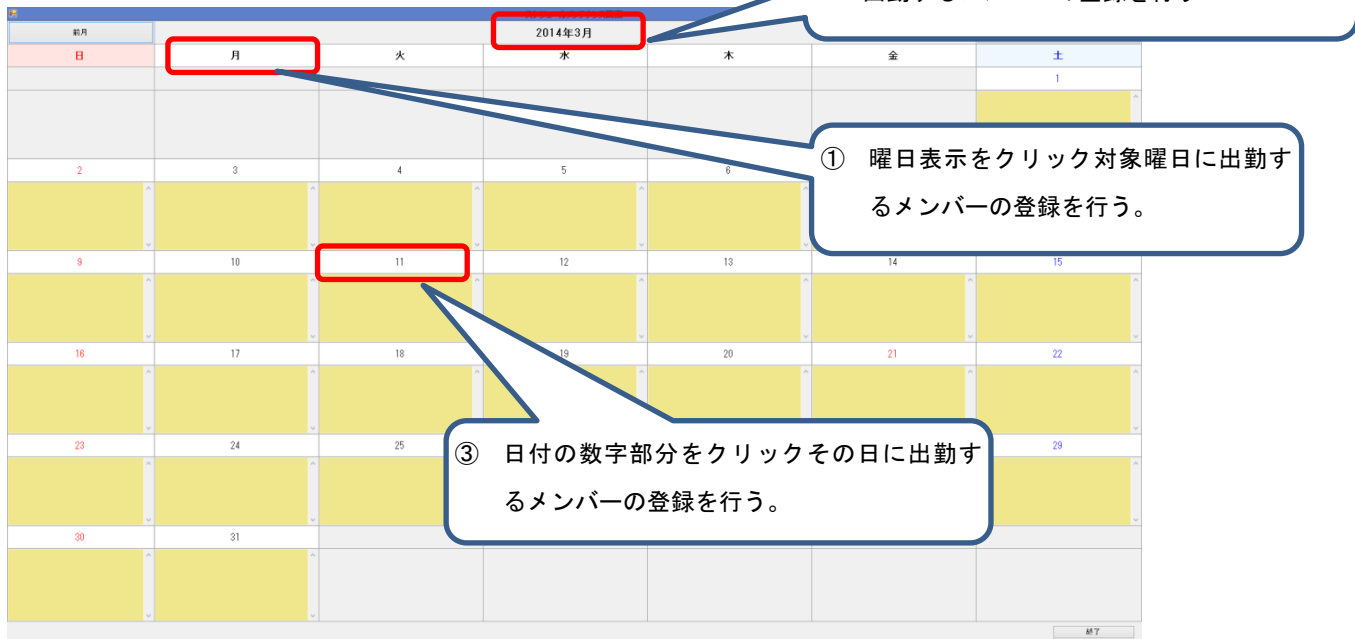
削除は対象の名前横の空欄を選択してキーボードの Del キーを入力する。

テストメール送信で登録したメールアドレス宛にメールが送信できることを確認して終了ボタンを押下し更新して終了する。



(2) スケジュールメンテナンス

対応するスケジュールの登録ができる

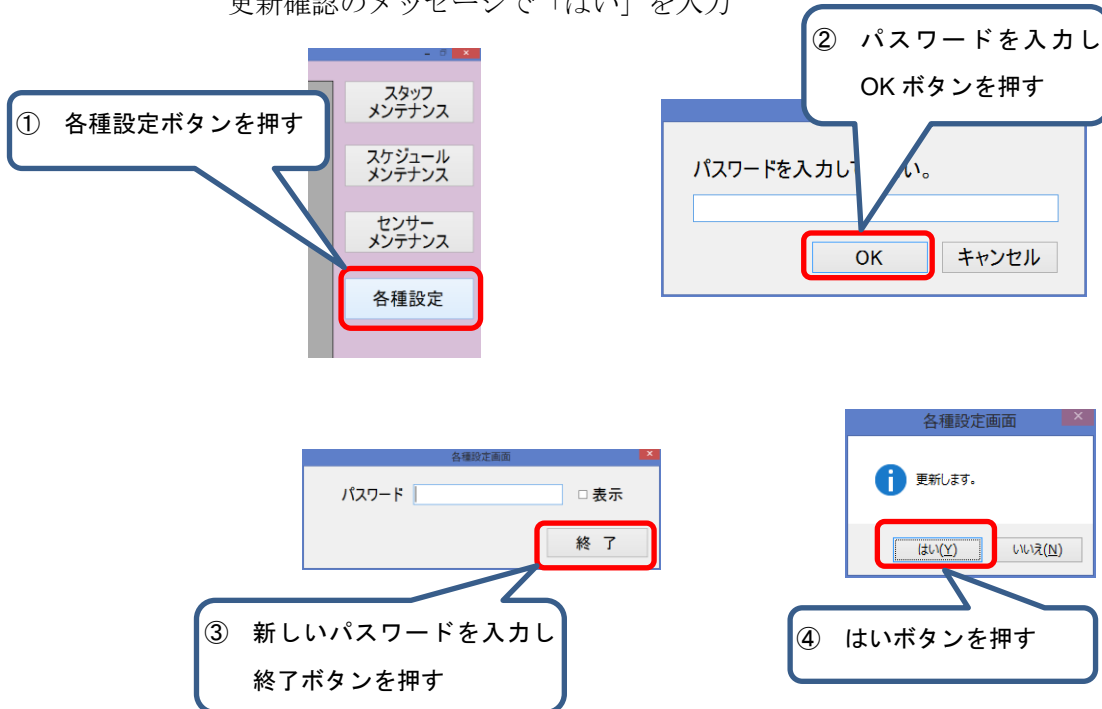


突発休などスケジュールの変更が発生した場合は日付を選択してその日に対応するメンバーを選択して再登録をおこなう。

(3) 初期パスワードの変更

バージョン 1.0.1.5 より管理者パスワードの設定が必要になり、
センサーメンテナンスを行うには管理者パスワードの入力が必要になります。
起動画面から「各種設定」ボタンを押し、パスワード認証画面で、
初期パスワード「miowhsw」を入力し、その後表示される
各種設定画面で新しいパスワードを入力し「終了」ボタンをクリック

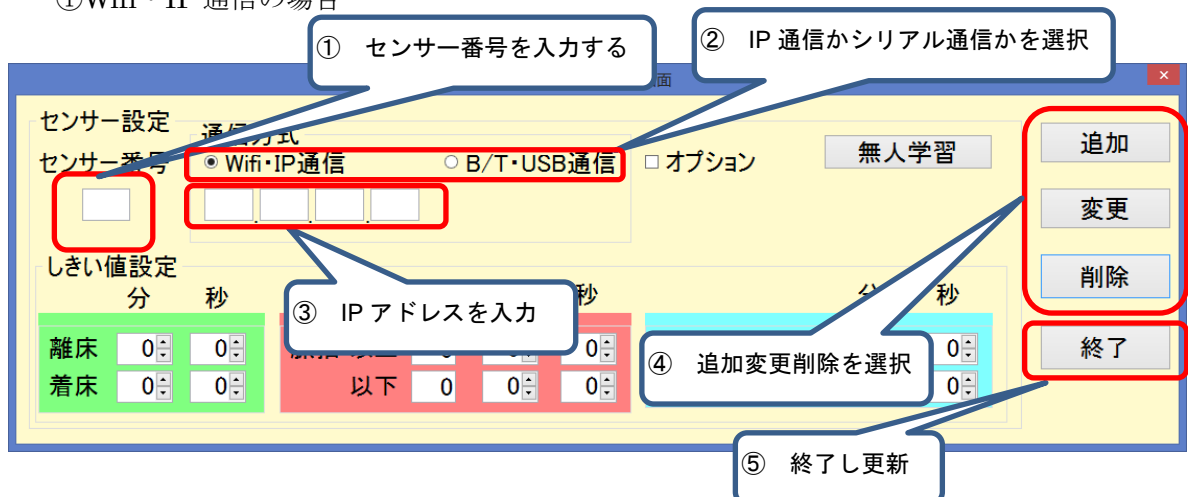
更新確認のメッセージで「はい」を入力



(4) センサーメンテナンス

管理者パスワードを入力し下記の手順に従いセンサーの設定に対する追加・変更・削除
を行う

①Wifi・IP 通信の場合



②シリアル通信の場合

① センサー番号を入力する

② IP通信かシリアル通信かを選択

③ ポート番号を入力

④ 追加変更削除を選択

⑤ 終了し更新

※オプション機能は無効になっています。

注意：追加・変更・削除ボタンを押しても、終了を行わないと変更内容は反映されません。

③閾値の設定（IP通信シリアル通信共通）

① 離床時着床復帰時の発報までの時間を設定

② 脈拍のしきい値と発報までの時間を設定

③呼吸のしきい値と発報までの時間を設定

しきい値	分	秒	しきい値	分	秒	しきい値	分	秒
離床	0	0	脈拍 以上	0	0	呼吸 以上	0	0
着床	0	0	以下	0	0	以下	0	0

④無人状態学習（IP通信シリアル通信共通）

① センサーを設置し、部屋を無人の状態にしてからこのボタンを押す。

(5) SMTP.inf の編集

インストールフォルダ直下にある SMTP.inf を編集することによりメール送信機能を使用する事ができる。

送信メールサーバーとアカウントの設定 (SSL などの暗号化には対応していません) を行う。

テキストエディタを使用してインストールフォルダ直下の SMTP.inf を開き、文字コードは UTF-8 を使用して下記のフォーマットで送信サーバー名、アカウント、パスワード、送信メールアドレスをカンマ区切りで記載する

SeverName,Account,Password,From

SMTP.inf の上書き保存を行う

例
smtp.mail.yahoo.co.jp,corporation_mio,XXXXXXXXX,corporation_mio@yahoo.co.jp

2. 見守りの開始と停止

部屋番号、名前、性別、年齢を入力し、見守り対象ボタンを押すと見守りが開始される

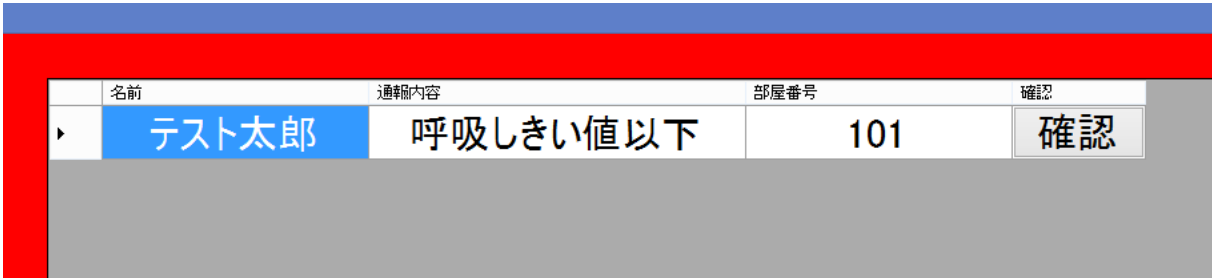
離床センサー番号	部屋番号	名前	性別	年齢	呼吸参考値	脈拍参考値	離着床	グラフ表示	見守り対象
1			男性						
2			女性						

離床センサー番号	部屋番号	名前	性別	年齢	呼吸参考値	脈拍参考値	離着床	グラフ表示	見守り対象
1	101	テスト太郎	男性	99	20	82	着床		
2									

3. 発報時の対処

センサーメンテナンスで設定したしきい値を越えた状態が続くと警告画面が出力される
警告が複数発生した場合は警告画面に複数行の警告画面が出力される
警告画面は画面の最後 1 行の確認ボタンが表示された場合、または離床状態が改善され着床状態になった場合に消える。

確認ボタンを押した後に現象が改善されない場合は再度警告画面が出力する。



名前	通報内容	部屋番号	確認
テスト太郎	呼吸しきい値以下	101	確認

4. ログ確認方法

インストールフォルダ直下に「LOG」フォルダに各見守り対象者の名前が付いたログファイルが保存されている。

表示の項目は下記の順で出力される。

日時、通信状態、呼吸参考値、脈動参考値、離着床状態

出力されるログの例

```
2014/07/11 14:33:04,通信,18,99,着床
2014/07/11 14:33:05,通信,18,98,着床
2014/07/11 14:33:06,通信,18,96,着床
2014/07/11 14:33:07,通信,18,94,着床
```